

2024(令和6)年度埼玉県・オハイオ州スカラシップ

〈語学・大学留学コース〉

“Gratitude”：1月報告レポート

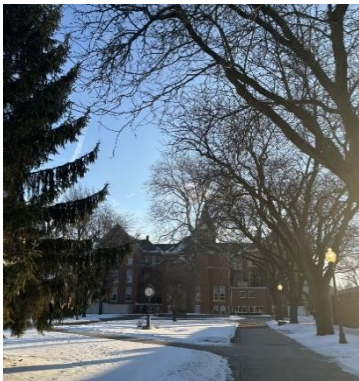
2024(令和6)年度奨学生 福澤 心結

はじめまして。令和6年度埼玉県オハイオ州スカラシップ奨学生として、フィンドレー大学に留学させていただいている、福澤 心結(ふくざわ みゆう)と申します。このような貴重な機会を賜り、心より感謝申し上げます。例年とは異なり、1学期間という限られた時間だからこそ、密度の濃い、意義深い時間を過ごしたいと考えております。毎月のレポートにおいては、現地で生活や学び、感じたことを記録し、その雰囲気が伝わりやすいよう、写真を多めに取り入れる予定です。

○私が見ている景色

フィンドレー大学のキャンパスは広大で、とても美しい景観が広がっています。晴れた日には、雪が太陽の光を反射してきらきらと輝く様子が魅力的です。渡米して最初に驚いたのは、雪の質感が日本と全く異なる点です。日本の雪は水分を多く含んでいますが、こちらの雪はサラサラしており、触れても手がほとんど濡れません。雪が固まりづらいため、雪合戦には不向きでした。気温は非常に低く、日によって異なりますが、予想最低気温が0° F(-18° C)から-15° F(-26° C)に達する日は、極寒警報が発令され、2日間の休校措置が取られることもありました。

来る前は寒さに耐えられるか心配でしたが、実際に到着してみると、建物全体を常に温かく保つセントラルヒーティングシステムのおかげで、快適に過ごしています。



○オリエンテーション期間

オリエンテーション期間には、登録手続きやレクリエーション、テスト、キャンパスツアーなどが実施されました。その活動の一つとして、1923年から続く伝統的な儀式「March Through the Arch Ceremony」がありました。この儀式は、グリフィス記念アーチ(Griffith Memorial Arch)を中心に行われ、入学と卒業を象徴する特別な瞬間とされています。新入

生は大学生生活の始まりとして、アーチをくぐりキャンパスの中心へと進みます。その際、アーチの向こう側では大学関係者や先輩たちが温かい拍手で迎え入れ、新たな門出を祝福してくれました。その温かい雰囲気にもまれ、これから始まる留学生活への実感が湧くと同時に、どこか不思議な気持ちにもなりました。

オリエンテーションには、春学期から入学する留学生が集まります。そのため、さまざまな国や文化の価値観に触れる機会となりました。日本出身だと伝えると、多くの学生が漫画やアニメの話をしてくれたり、「日本が大好き」「日本は自分の夢の目的地だ」と語ってくれたりすることがあり、そうした言葉を聞いたたびに誇らしい気持ちになりました。この日本へのポジティブなイメージを大切に、自分もその一端を担えるよう努力したいと強く思いました。

一方で、宗教や政治についての話題になると、自分の考えを適切に伝えるための英語力や知識の不足を痛感しました。他国の文化を学ぶ前に、まずは自国のことについて深く理解し、適切に説明できるようにならないと再認識する機会となりました。



○温かいコミュニティー

また、この大学の人々は本当に温かく、親切です。決して大袈裟ではなく、かけてくれる言葉の一つひとつに思いやりが込められており、ドアを開けて待ってくれたり、困っているとすぐに助けようとしてくれる姿勢に何度も助けられました。さらに、新しく来た私たちを温かく迎え入れてくれて、さまざまな活動に誘ってくれるなど、親しみやすい環境です。

こうして毎日、温かい人々に囲まれながら充実した日々を過ごしています。この大学で出会った人々の優しさにいつか恩返しができるよう、私自身も成長していきたいと考えています。



○新年会

日本からの留学生、日本語を学ぶ学生、そして日本文化に興味を持つ人々が集まり、日本の伝統的な方法で新年を祝う「新年会」が開催されました。

この会では、書初めを行い、きなこや砂糖醤油を添えたお餅を味わいました。私は、タイトル、上記にあるように、感謝の気持ちでいっぱいなのでその思いを込めて「感謝」という文字を書きました。



ここまでお読みいただき、誠にありがとうございます。

出国前には、令和 5 年度奨学生の河原塚咲さんにメールを通じて親身なアドバイスをいただき、大変助けられました。また、渡航後は、現地にいる令和 3 年度奨学生の塚林光ジョナサンさんにも多くのご支援をいただいております。こうした埼玉オハイオ州奨学生同士のつながりを実感できることを、大変光栄に感じています。

私自身も、今後の奨学生の方々や、このプログラムに興味をお持ちの方々に対して、できる限りのサポートをさせていただきたいと考えております。ご意見やご質問がございましたら、fukuzawam@findlay.edu までどうぞお気軽にご連絡ください。皆さまからのご連絡をお待ちしております。